第８号　平成２７年５月１日発行

この通信は、五郎沼の桜や周辺環境を守りながら、五郎沼の活用方法や今後のあり方を地域の皆さんと考えるために発行します。
（発行部数:２００部）

発行者：「五郎沼の桜を守る会」
事務局　瀬川峰雄
紫波町南日詰字小路口７０-１
電　話：019-672-2656（FAX兼用）
携　帯：090-2270-6771
E-mail：shiwajokaso@crest.ocn.ne.jp

今年もきれいに咲いた 五郎沼の桜

今年は例年より一週間以上早く、桜の満開を楽しむことができました。ちょうど満開は前後の雨の間の晴天の19日（日）だったことと、テレビのにも取り上げられたこともあってか、大変な人出でした。

さて、紫波町の桜の名所の城山では、今年も「ウソ」に桜の芽を食べられてしまった様子で、まったく花がつかなかったようでした。その点、五郎沼には「ウソ」より大きな白鳥が桜を守ってくれており、今年も大変きれいな桜を咲かしてもらっています。

（写真は箱清水地区の加藤氏撮影）

五郎沼橋南側の桜トンネル

駐車場付近

ウソとは？

スズメ目アトリ科ウソ属に分類される鳥類の一種。和名の由来は口笛を意味する古語「うそ」から来ており、ヒーホーと口笛のような鳴き声を発することから名その細く、悲しげな調子を鳴き声は古くから愛され、付けられた。江戸時代には「弾琴鳥」や「うそひめ」と呼ばれることもあった。

繁殖期は山地の針葉樹林に生息し、非繁殖期には低地の林にも生息する。非繁殖期は10羽ほどの小規模の群れを形成する。

春に木の実や芽（時にはサクラ、ウメ、モモなどの花や蕾）等を食べ、繁殖期に昆虫のガの幼虫やクモなどを食べ、秋にはズミやナナカマドの果実などを食べる。

（ウィキペディアより）

古代ハス池と堤体の整備をしました

今年も史跡五郎沼愛護会にて、古代ハス池へ施肥と古いハス茎の除外、桜枝の焼却作業を行いました。

今回は、ハス池の周りに水もれ止めのアゼを取り付け水持ちを良くし、また、例年より早そうな桜の開花に備え、ノボリで少しでも観桜客のお迎えに華やかさがでるように準備をしました。

五郎沼の標柱

紫波町観光交流協会のはからいで、町内の数ある史跡の中で最初に立てられた五郎沼付近の「標柱」４本です。是非、五郎沼一周散歩のときでも確認してみてください。

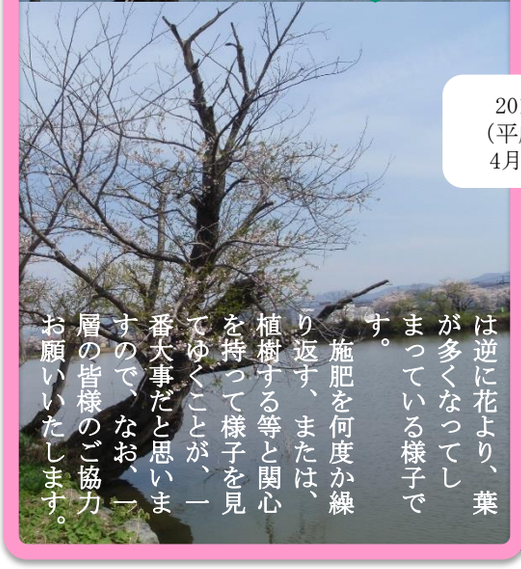
五郎沼東入口付近の「伝説夜泣き石・供養塔」

薬師神社と五郎沼の中間点の「大荘厳寺跡」
※大荘厳寺‥‥比爪館の構成の一つの寺院。
江戸時代に盛岡に移転させられまで当地に所在続けていたと考えられます。

沼の南東部の小高い丘に「五郎沼経塚跡」

東側四号線沿い堤体に「五郎沼」

西側堤体の桜へ施肥後の様子



五郎沼の西側堤体の一番弱っていると思われる桜へ昨年の施肥（土壌改良）と3月の化学肥料の追肥を行って桜木を写真で比較してみました。（見づらいと思いますが・・）
24番目桜の花数は昨年より多い様ですが、26番目桜は逆に花より、葉が多くなってしまっている様子です。
施肥を何度か繰り返す、または、植樹する等と関心を持って様子を見てゆくことが、一番大事だと思いますので、なお、一層の皆様のご協力お願いいたします。

‥‥‥お知らせ‥‥‥

「五郎沼散策講座」
講師：三田地節子
発見！五郎沼の魅力。地元の宝、五郎沼の植物を気軽に知る機会

日時：平成27年5月29日（金）
9:30～12:00
場所：赤石小学校（予定）
参加：無料（保健代100円）

地元の歴史入門講座
「はじめて触れる比爪館」
講師：羽柴直人
（県立博物館）
赤石に残る「比爪館」の歴史。知りたいけどきっかけがなかったという方大歓迎！

日時：平成27年7月25日（土）
10:30～12:00
場所：赤石小学校（予定）
参加：無料

「五郎沼の桜を守る会」総会

日時：平成27年5月21日（木）
18:30～
場所：箱清水公民館
※当日、平成27年度会費2千円をお願いいたします。